

## 2024年度シラバス

### ファッションテック科 1年

授業科目	必・選の別	年間授業 時間数	単位数	担当教員	業界実務経験	ページ
ファッション知識	必修	45	1.5	面田 憲郎	有	2
アパレル商品知識	選択必修	90	3	笠原 敏正	有	4
ファッションコーディネート	必修	45	1.5	伊藤 彩	有	6
ECショップブランディング	必修	90	3	山岸 千恵	有	8
IT基礎	必修	45	1.5	伊藤 貴裕	有	10
ITパスポート演習	選択必修	90	3	原田 亮一	有	12
WEB制作	必修	90	3	橋口 陽二郎 面田 憲郎	有	14
WEB運営	必修	90	3	深地 雅也	有	16
カメラワーク	必修	45	1.5	石田 英士	有	18
画像編集ワーク	必修	90	3	西村 元良	有	20
デジタル広告	必修	45	1.5	早河 太貴	有	22
カスタマーリレーション	必修	45	1.5	湯原 良樹	有	24
コピーライティング	必修	45	1.5	苫米地 香織	有	26
パソコンワーク	必修	45	1.5	細谷 典子	有	28
校外研修	必修	30	1	福原 葉瑠子	無	30
インターンシップ	選択	30	1	福原 葉瑠子	無	32
修了制作	必修	120	4	伊藤 貴裕	有	34

科目名	ファッション知識	教員名	面田 憲郎
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>◎アパレル業界において業務上必要である基本的なビジネス知識への理解を第一に考え、ファッション業界の全体像を理解しつつ、ファッションビジネスへの基礎の習得を目指します。</p> <p>その他、EC業務でのささげ業務の一部を学び習得しながら、包装や配送業務についても理解を深める。</p> <p>◎ファッション販売能力検定試験3級またはファッションビジネス検定の合格を目指します。</p> <p>◎DTPデザイン基礎技術の習得。</p>		
到達目標	<p>◎アパレル業界の全体像の把握、専門用語の理解</p> <p>◎検定合格</p> <p>◎illustrator、Photoshopの基本操作技術</p>		
授業の方法	<p>◎ファッションニュース、トレンド、社会情勢などタイムリーな時事問題を取り上げつつ、ファッションビジネス、ブランドビジネスや知識、アパレル業界を取り巻く環境を理解していく。</p> <p>◎テキスト、過去の問題や課題に取り組みながら検定合格を目指す。</p> <p>◎復習も兼ねた小テストを多く実施することにより理解を深める。</p> <p>◎他の授業と連携し、DTPデザインに取り組む。</p>		
成績評価の方法	<p>◎課題 80%</p> <p>◎出席率 20%</p> <p>◎授業、課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0 ~ 10%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<p>(有)・無 実務概要(販売、営業、ディレクター、人材コンサル、スタイリスト、グラフィックデザイン)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業予定、制作・提出方法、イントロダクション
2回	ファッションビジネス基礎	導入、生活者とファッション企業の関係、ファッションビジネスと生活者ニーズ・ウォンツ
3回	↓	ファッション業界の仕組み、ファッション小売産業と現状・今後
4回	↓	その他アパレル産業の概要・形態、EC業界の現状と今後
5回	↓	消費者行動とファッション表現、マーケティング基礎
6回	↓	マーケティング基礎、マーケティング戦略・ポジショニング、リテールマーチャンダイジング基礎
7回	↓	係数から捉えるファッションビジネス
8回	↓	ファッション商品知識① (採寸、包装技術、商品配送に関する知識)
9回	↓	ファッション商品知識② (サイズの知識、品質管理、副資材について)
10回	↓	ファッション商品知識③ (衣服の構成とディテール)
11回	DTPデザイン	操作方法、著作権等の理解、デザイン基礎、課題制作
12回	↓	↓
13回	卒業修了制作展に向けた作品作り	↓
14回	↓	↓
15回	卒業修了制作展に向けた作品作りとまとめ	↓

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	アパレル商品知識	教員名	笠原 敏正
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>アパレル業界において成果を出すためには、基本を学び、理解し実践力を身につけていくことが重要です。</p> <p>その為には、物事の作法や決まりを理解し、知識を増やして知恵に変えていくことが大切です。</p> <p>学びの中で自ら考え行動することで、小さな気づきや発見を積み重ねていきます。</p> <p>又、時代の変化を肌で感じ、美意識を高めていく為には美しいものを見たり触れたりして感性を養うことが大切です。</p> <p>授業の中で学んだことは社会に出たら実践を通して活かせることを目的とします。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションの本質や意義を学び、引き出しを増やしていきます。</li> <li>・ファッションを学ぶ中で感性や自己表現力、個性を磨いていきます。</li> <li>・ファッションとデジタルを組み合わせる新たな時代の表現力を身につけます。</li> <li>・能動的な行動力を通してコミュニケーション力を高めます。</li> </ul>		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学を通して商品知識を身につけていきます。</li> <li>・校外授業にてリサーチ力を養います。</li> <li>・定期的に課題に取り組み構成力や表現力を養います。</li> </ul>		
成績評価の方法	<p>①出席／40%</p> <p>②授業態度／10%</p> <p>③課題／40%</p> <p>④テスト／10%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>授業以外の進路に対しての相談やアパレル業界の仕事内容など、気になることがあれば気軽にご相談ください。</p>		
教員の實務経験	<p><input checked="" type="radio"/> 有 實務概要(アパレル企業でのブランドディレクション、マネジメント等)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介／授業の進め方／社会人に向けての心構え
2回	アパレル業界について	ファッション(アパレル)業界とは(業界の構造) 1
3回	↓	ファッション(アパレル)業界とは(業界の構造) 2
4回	ファッションの歴史について	ファッションの歴史を紐解く
5回	校外授業①	リサーチ力をつける(観察力と洞察力)・表参道界隈のリサーチ
6回	↓	↓
7回	商品知識①	アイテムの種類、婦人服の種類
8回	↓	紳士服の種類～インナーウェアの種類
9回	校外授業②	ブランド分析
10回	商品知識②	素材について No1
11回	商品知識③	素材について No2
12回	商品知識④	カラーについて
13回	校外授業③	トレンド分析
14回	↓	↓
15回	前期テスト	前期テスト 前期の反省と後期の目標
16回	商品知識⑤	シルエットの知識～柄の種類、服飾雑貨
17回	商品知識⑥	商品の品質管理
18回	校外授業④	インスピレーションを養う
19回	↓	↓
20回	商品知識⑦	売り場づくり
21回	校外授業⑤	店舗、売り場の検証
22回	↓	↓
23回	商品知識⑧	マーケティング
24回	校外授業⑥	自由課題Part1
25回	↓	↓
26回	校外授業⑦	自由課題Part2
27回	↓	↓
28回	校外授業⑧	自由課題まとめ
29回	商品知識⑨	後期テスト
30回	総括	振り返り

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	ファッションコーディネート	教員名	伊藤 彩
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ECサイトで必要なスタイリング力を身につける。</p> <p>セルフスタイリングを始め、アイテムを絞った着回し方を学ぶ。</p> <p>様々なアイテムの表現方法を身につける。</p> <p>イメージワードとスタイリングの結びつきをしっかりと学ぶ。</p>		
到達目標	<p>基礎的なスタイリングのセンスを磨く。</p> <p>撮影時の衣類の見せ方のノウハウを身につける。</p> <p>様々な素材の衣類の取り扱いに慣れる。</p>		
授業の方法	<p>実習を多くし、衣類に触れる機会を多くする。</p> <p>条件付きのセルフスタイリングを楽しめるようにする。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の出来栄え 50%</li> <li>・授業態度 20%</li> <li>・ミニテスト 10%</li> <li>・その他 20%</li> </ul> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(スタイリスト、ディレクター)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介・授業の説明
2回	ファッションイメージ考察	イメージワードに基づいたスタイリングを考察
3回	ファッションイメージ考察	イメージワードに基づいたスタイリングを考察
4回	セルフスタイリング	テーマに基づいたセルフスタイリング
5回	セルフスタイリング & スナップ	テーマに基づいたスタイリングと着回し術
6回	市場リサーチや復習テスト	店舗や雑誌によるトレンド調査、または特別講義・ミニテスト
7回	撮影時のスキルアップ	プロップ、ブツ撮りや着画撮影の衣類の見せ方
8回	撮影実習でのスキルアップ	ブツ撮り練習
9回	撮影実習でのスキルアップ	ブツ撮り練習
10回	卒業制作に向けて	企画書確認、キービジュアル考察
11回	卒業制作に向けて	キービジュアルの考察、企画書提出
12回	卒業制作に向けて	商品ページの企画書、アイテムリストアップ
13回	卒業制作に向けて	撮影実習
14回	卒業制作に向けて	撮影実習
15回	テスト&総括	後期テスト&総括

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	ECショップブランディング	教員名	山岸 千恵
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>バラバラに存在していた服たちを独自の考えや自分ルールをもとに再構築し、新しい価値をつけてブランド化していく考え方、価値のつけ方を学びます。</p> <p>また、価値をつけるために必要なケーススタディやマーケティングも学びます。</p> <p>どのような状況になっても、1人で0からブランドを組み立てられるように再現性の高いスキルを身につけていく事を目指します。</p> <p>また、社会に出て即戦力になれる・リーダー候補になれる人材育成を行います。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価値の創出</li> <li>・「じぶんブランド」として企画書の作成</li> <li>・他者に伝わるプレゼンテーションを学ぶ</li> </ul>		
授業の方法	<p>・前半は講義、後半はワークショップ</p> <p>◎以下具体的な流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回の授業の前半は軽く前回の講義のおさらい→それに対して学生が行った課題作成についてのフィードバック→「本日の講義」</li> <li>・後半は「本日の講義」に対してのワークショップ</li> <li>・その他、企業の展示会見学・東京コレクションの観覧など検討中</li> </ul>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題 30%</li> <li>・テスト 40% (制作物のクオリティー 25% 制作物のプレゼンテーション 15%)</li> <li>・出席率 20%</li> <li>・授業への積極性・受講姿勢 10%</li> </ul> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>基本的にはどの学生も置いていかない内容を考えていますが、限られた時間の中で質を高めていくために、積極的な参加姿勢とコミュニケーションを期待しています。</p>		
教員の実務経験	<p>(有)・無 実務概要(株式会社アダストリア ウィメンズアパレルMD 在職中 前職ではブランドディレクター・チーフデザイナー経験あり)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション 自己紹介	講師自己紹介・学生の今後の希望をヒアリング／今後のスケジュールと目標共有
2回	ファッション業界とブランドとはなにか	企業内WEB実務担当者の相関図解説／ブランド価値とはなにか
3回	ブランド価値とプレゼンテーション①	商品価値比較シート発表会
4回	ブランド価値とプレゼンテーション②	アパレルブランドの研究結果発表会
5回	じぶんブランドを考えよう①	「じぶんブランドロードマップ」説明 ブランド名・ターゲット・コンセプト決め
6回	じぶんブランドのパーツを考えよう②	ブランド構築に関するマーケティング学習
7回	じぶんブランドのパーツを考えよう③	ブランド構築に関するマーケティング学習
8回	じぶんブランドのパーツを考えよう④	ブランド構築に関するマーケティング学習
9回	じぶんブランドのパーツを考えよう⑤	じぶんブランド作成作業
10回	じぶんブランドのパーツを考えよう⑥	じぶんブランド作成作業
11回	じぶんブランドのパーツを考えよう⑦	マーケティングの復習／シーズン(商品の賞味期限)の考え方／価格・商品名・売り方戦略
12回	じぶんブランドのパーツを考えよう⑧	ブランド作成シートの説明 = ブランド企画書のプレゼンテストについて説明
13回	じぶんブランドのパーツを考えよう⑨	じぶんブランド作成シート確認・アドバイス
14回	前期テスト	前期テスト実施／じぶんブランド企画書／発表会
15回	前期テスト 返却	企画書のフィードバック
16回	じぶんブランド企画書 完成	ECショップ／じぶんブランド企画書最終提出
17回	EC目線でのマーケットリサーチ	リアル店舗リサーチの着眼点解説とリサーチ外出
18回	マーケットリサーチブランド研究	リサーチしたオフライン店舗とWEB画面の訴求の連動性研究
19回	マーケットリサーチチームMTG・発表	ブランド研究担当のチーム内プレゼン／チームワークを学ぶ／研究結果発表
20回	成功ブランド・商品 事例紹介	ケーススタディを学ぶ
21回	卒業制作相談 ・ 企業展示会見学	ブランディングの観点から見た卒業制作表現指導
22回	卒業制作相談 ・ 企業展示会見学	ブランディングの観点から見た卒業制作表現指導
23回	卒業制作相談 ・ 企業展示会見学	ブランディングの観点から見た卒業制作表現指導
24回	卒業制作相談 ・ 企業展示会見学	ブランディングの観点から見た卒業制作表現指導
25回	卒業制作相談 ・ 企業展示会見学	ブランディングの観点から見た卒業制作表現指導
26回	分析力強化	ブランディングの観点から見た卒業制作表現指導と実務で役立つ分析力向上学習
27回	後期テスト	後期テスト説明
28回	後期テスト 資料作成	後期テスト期間
29回	後期テスト	後期テスト実施
30回	総括	テストのフィードバックと1年間の振り返り

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	IT基礎	教員名	伊藤 貴裕
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッションテック科ではITパスポートやWeb制作の知識を学習するが、本授業ではそれぞれの授業で学ぶ知識を仕事で活用するため、実務に応用するための知識を習得し、訓練を行っていく。</p> <p>具体的には、社会で仕事としてITを使う際のプロジェクトの進め方や実務における問題解決の方法を学習する。後半からは、卒業制作を実施することで実務に沿った流れで成果物を作成するまでの一連を実践し習得する。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITに関する基本知識全般を身につける。</li> <li>・ITに関する基本知識を実務に応用するために、仕事の進め方を習得する。</li> <li>・習得した仕事の進め方に沿って、成果物(卒業制作)を完遂する。</li> </ul>		
授業の方法	<p>レジュメや成果物のサンプルをベースとし、講座(座学)により知識を身につけながら、ワークにて、学生自身が実務をこなせるようトレーニングを行う。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題: 50%</li> <li>・授業への取り組み姿勢: 40%</li> <li>・テスト: 10%</li> </ul> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(ITコンサルタント、企業向けシステム研修講師)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、仕事でITを使うために必要な知識の概略を理解する
2回	会社の仕組みと情報システム①	会社における業務とITの関係性を学ぶ①
3回	会社の仕組みと情報システム②	会社における業務とITの関係性を学ぶ②
4回	システム開発の方法論①	システム開発の方法論を学ぶ①
5回	システム開発の方法論②	システム開発の方法論を学ぶ②
6回	プロジェクトマネジメント①	プロジェクトマネジメントの基本知識を学ぶ①
7回	プロジェクトマネジメント②	プロジェクトマネジメントの基本知識を学ぶ②
8回	サービス管理①	システム開発後の運用について学ぶ①
9回	サービス管理②	システム開発後の運用について学ぶ②
10回	卒業制作／演習	卒業制作を実施する
11回	↓	↓
12回	↓	↓
13回	↓	↓
14回	↓	↓
15回	↓	↓

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	ITパスポート演習	教員名	原田 亮一
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>デジタル化が進む現代社会において、コンピューターやスマートフォンを駆使して業務を遂行することは、社会人にとって不可欠なスキルとなっています。</p> <p>本講座では、プロフェッショナルとして必須のIT知識を網羅的に習得することを目指し、幅広いITの知識を扱い、その概念を学習していきます。</p> <p>難易度としては、国家資格である「ITパスポート」に相当するレベルを設定し、学期末には実際の資格取得を目標として学習を進めます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITに関する基本知識全般を身につける</li> <li>・ITパスポートに合格する</li> </ul>		
授業の方法	<p>教科書・レジュメをベースとした講師による講座(座学)により知識を身につけながら、演習問題を用いて実際に問題を解けるようにトレーニングを行う。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題: 50%</li> <li>・授業への取り組み姿勢: 40%</li> <li>・テスト: 10%</li> </ul> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(企業研修講師・IT企業でのエンジニア・人事の経験20年以上)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、IT基礎を学ぶことの意義を理解する
2回	↓	↓
3回	ハードウェア	ハードウェアの側面から見るコンピュータの仕組み
4回	↓	↓
5回	ソフトウェア	ソフトウェアの側面から見るコンピュータの仕組み
6回	↓	↓
7回	コンピュータの仕組みと扱うデータ	2進数による処理概要、メディア
8回	↓	↓
9回	データベース	データベースの基本知識
10回	↓	↓
11回	ネットワーク	ネットワークの基本知識とインターネットの仕組み
12回	↓	↓
13回	セキュリティ	セキュリティの基本知識
14回	↓	↓
15回	演習①	演習と解説
16回	↓	↓
17回	システムの導入	システム導入の流れ
18回	↓	↓
19回	システム開発とプロジェクト マネジメント	システム開発の方法論と実務、プロジェクトマネジメントの基本知識
20回	↓	↓
21回	企業活動とITの活用	企業活動と経営、企業のIT活用に関する知識
22回	↓	↓
23回	法務と財務	法務、知的財産権、財務、財務諸表に関する知識
24回	↓	↓
25回	演習②	演習と解説
26回	↓	↓
27回	演習③	演習と解説
28回	↓	↓
29回	期末テスト	期末テストと振り返り
30回	↓	↓

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	WEB制作	教員名	橋口 陽二郎 ・ 面田 憲郎
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>WEBサイトは、お店のようなものです。様々なお客様がお店の前を通り、看板を目にして、無意識にお店に入る。商品を手に取り、そして試着をして購入するといった流れを想像して、実際にWEBサイトを作り上げていく必要があります。お店には商品はもちろん、お客様が入りたくなるような看板があり、また店舗の中には陳列棚やレジがあります。しかしそれだけではなく、電気の配線や水道回りがあり、Wifiを契約し、さらにレジスターの設定や時には配送手続きも必要になります。そういった総合的なお店を、デジタルの世界でOPENすることがこの授業の目標です。WEB制作をしていくには、大工が家を建築して、内装屋が床を張るような技術的で適切な知識が重要で、知るだけでなく、経験して理解し、定着度を高めていきましょう。また、これらを学んでいくための土台として、クラス全体の雰囲気は楽しく学び、わからないことがあったら気軽に質問できることが大切だと考えています。1年後に、WEB制作を身近に感じられるよう、学習していきましょう。本講義では、グループワークにも力を入れ、クラスである強みを活かし、みんなで効率的に学習していきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトの設計、実装、公開、運用の一通りの流れを理解することができる。</li> <li>・就職後の企業のWeb、EC運営などを行うにあたり基盤となる知識を身につける。</li> <li>・Webにおいても創る楽しさがあることを知る。</li> </ul>		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学による講義</li> <li>・実技形式による制作</li> </ul>		
成績評価の方法	<p>①課題：50%</p> <p>②授業への取り組み姿勢：50%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>日常からWEBサイトの構成やデザインに対して意識していくようにしましょう。</p>		
教員の実務経験	<p>(有)・無 実務概要(WEBデザイナー・グラフィックデザイン)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	アイスブレイク・自己紹介・Web制作とは
2回	ウェブデザイン ①	WEBサイトデザインの基礎
3回	ウェブデザイン ②	WEBサイトデザインの基礎
4回	ウェブデザイン ③	WEBサイトデザインの基礎
5回	サイト制作準備	SHOPIFYパートナーのアカウント作成等
6回	サイトマップ設計	振り返り・サイトマップづくり
7回	ワイヤーフレーム制作 ①	振り返り・ワイヤーフレームを制作
8回	ワイヤーフレーム制作 ②	ワイヤーフレーム制作
9回	ワイヤーフレーム制作 ③	ワイヤーフレーム制作
10回	HTML・CSS基礎 ①	HTML・CSS基礎について
11回	HTML・CSS基礎 ②	HTML・CSS基礎について
12回	HTML・CSS基礎 ③	HTML・CSS基礎について
13回	JavaScript基礎 PHP基礎	JavaScript基礎・PHP基礎について
14回	スケジュール、タスク管理	スケジュール、タスク管理
15回	振り返り	授業の振り返り
16回	オリエンテーション	EC制作説明／後期オリエンテーション、ECデモサイト制作概要
17回	ウェブデザイン(shopify) ④	WEBサイトデザインを実践
18回	ウェブデザイン(shopify) ⑤	WEBサイトデザインを実践
19回	修了制作説明	ECサイト要件定義整理・定義書作成
20回	修了制作 ①	ECサイト要件定義書作成・プロトタイプ作成(構成・デザイン)
21回	修了制作 ②	プロトタイプ作成(構成・デザイン)
22回	修了制作 ③	プロトタイプ作成(構成・デザイン)
23回	修了制作 ④	本制作(写真・ライティング反映)
24回	修了制作 ⑤	本制作(写真・ライティング反映)
25回	修了制作 ⑥	本制作(写真・ライティング反映)
26回	修了制作 ⑦	本制作(写真・ライティング反映)
27回	修了制作 ⑧	本制作(写真・ライティング反映)
28回	発表	発表と制作物におけるフィードバックをクラスで実施
29回	発表	発表と制作物におけるフィードバックをクラスで実施
30回	Web制作と仕事	Web制作の知識とキャリアの関係性について

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	WEB運営	教員名	深地 雅也
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	ECサイトやSNS上の訪問データを分析し、売上UPに繋がる手法を学ぶ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EC担当者として必要な知識・技術の習得</li> <li>・WEB解析の学習</li> </ul>		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学による講義</li> <li>・ECカートの管理画面を活用した実践</li> <li>・アパレルECサイトのリサーチとトレース</li> </ul>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出課題</li> <li>・出席および授業態度</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレル／ファッションブランドのECサイトとSNSの定点観測必要</li> </ul>		
教員の実務経験	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 実務概要(ファッションブランドのEC運用ディレクション ※80ブランド以上)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	EC担当者の業務の解説	現場のEC担当者が日々実行している作業の理解
2回	shopifyの管理画面の概要	用語解説(ドメイン・ファビコン・OGPなど)
3回	shopifyの機能解説	初期設定(Googleアナリティクス・search console・GTM設置)
4回	固定ページの役割	ABOUT・ショッピングガイド・特定商取引法
5回	ささげ業務の実践①	原稿作業(商品説明文)
6回	ささげ業務の実践②	原稿作業(記事コンテンツ)
7回	ささげ業務の実践③	撮影・採寸の概要／付随するサービスの解説
8回	商品登録作業①	CSVの編集
9回	商品登録作業②	カテゴリー分けのルール設定
10回	商品登録作業③	タイトル・ディスクリプション・alt属性の設定
11回	配送までの流れ	注文から配送までの流れ確認・送り状ナンバーの入力
12回	ECにおけるSEO①	search consoleの使い方について
13回	ECにおけるSEO②	MFI・CWV・EEATの説明
14回	メルマガ運用について	テンプレートを活用したメルマガ作成
15回	SNSを活用した集客について	主にinstagramを活用したプッシュ施策
16回	WEB解析①	GA4の概要説明
17回	WEB解析②	チャンネル別・参照元別・キャンペーン別の効果検証
18回	WEB解析③	search consoleとランディングページを組み合わせた効果検証
19回	WEB解析④	地域別・性別・デバイス別等の効果検証
20回	WEB解析⑤	サイトコンテンツの効果検証
21回	WEB解析⑥	間接効果・広告の効果検証
22回	WEB解析⑦	探索レポートの使い方
23回	WEB解析⑧	GTMからカスタムイベントを設定
24回	WEB解析⑨	Microsoft Clarityの導入・活用
25回	WEB解析⑩	shopifyのストア分析の理解
26回	集客施策立案①	SNSと連動した集客施策の立案と実践①
27回	集客施策立案②	SNSと連動した集客施策の立案と実践②
28回	卒業制作準備①	商品詳細ページの設計①
29回	卒業制作準備②	商品詳細ページの設計②・マスタ完成
30回	卒業制作準備③	商品登録・アップロード後の確認

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	カメラワーク	教員名	石田 英士
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>カメラの基礎知識をしっかりと学び、講習や撮影実習を通して正確で綺麗な撮影テクニックを身につける</p> <p>撮影のみで終わることなく、カラーマネジメントを通しデータ作成までのワークフローを体感し</p> <p>様々な講習を通して、幅広い写真表現を習得する</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジカメの使用方法をマスターし、イメージ通りの写真が撮れる技術の習得を目指す</li> <li>・写真表現を通した幅広い表現力やディレクション力を身につける</li> <li>・用途に応じたデータを作成する知識と技術の習得</li> </ul>		
授業の方法	<p>撮影実習や技術講習を中心に授業を進めていきます</p> <p>撮影のみで終わることなく、イメージの構築、準備、プロセスにも重きを置き、</p> <p>フィニッシュまで全体を考えられるように指導していきます</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影実習作品を基準とした成績評価となります</li> <li>・評価基準としては、クオリティー60%、準備などプロセスを40%としています</li> <li>・撮影に取り組む姿勢や努力が多く見える場合は加点対象とします</li> </ul> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(フォトグラファー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	Introduction	撮影のワークフローを知る
2回	カメラの基礎講座①	一眼カメラ(ミラーレス)の使用方法や設定方法、絞りやシャッタースピード
3回	撮影実習	イメージスナップ撮影
4回	カメラの基礎講座②	カラーバランスやキャリブレーション、データの保存方式、色調整のテクニック
5回	撮影実習	物撮影(STILL LIFE) イメージを写真で表現する
6回	カメラの基礎講座③	自然光や人工光(ストロボやLED)によるライティング
7回	撮影実習	ファッション 作品撮影
8回	COMMERCIAL WORK ①	広告企画を立案
9回	COMMERCIAL WORK ②	「COMMERCIAL(広告)」撮影
10回	PCワーク	データセレクト、レタッチ作業等
11回	撮影実習	卒業制作 作品撮影①
12回	撮影実習	卒業制作 作品撮影②
13回	PCワーク	データセレクト、レタッチ作業等
14回	撮影実習	卒業制作 作品撮影③
15回	撮影実習	ファッションポートレート 作品撮影

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	画像編集ワーク	教員名	西村 元良
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>WEBでのIllustratorとPhotoshopの活用方法</p> <p>1. ファッション産業におけるWEB上のグラフィック役割と有効性を理解し、デザイン表現の手段としてPC及びソフトを扱う能力を身につけると同時に、デザイン表現能力とプレゼンテーション能力のスキルアップを図る。</p> <p>2. グラフィックCGを使用してWEBでの画像制作を行う際の、CG活用術の習得とスキルアップ。</p> <p>3. 市販ソフト「ドローソフト／Illustratorとフォトタッチソフト／Photoshop」の応用操作の習得とスキルアップ。</p> <p>4. WEB関連授業とのコラボレーションによる共同作業。</p>		
到達目標	<p>画像編集の技能習得を通して、個人企画能力のスキルアップを目指す。</p> <p>(WEBデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及びグラフィックソフトを使う能力を身につけ、同時に、各自のWEBデザイン能力のスキルアップを図る)</p>		
授業の方法	<p>講義・演習による操作・作業説明、実習による実技指導、巡回による個別指導を行う。</p> <p>1. 画像データの編集や、写真コラージュによる効果的なイメージ表現方法を理解するための演習。</p> <p>2. 関連授業と連携した課題制作実習。</p> <p>3. 配布資料データ・各自の収集したデータを基にした課題制作実習。</p> <p>4. 授業は全て講義・実操作でおこない、実習・演習の練習時間を設けることで個々の不明点をフォローしていく。</p>		
成績評価の方法	<p>試験(30%)、課題制作物(30%)、出席率(30%)、授業態度(10%)の比重で行う。</p>		
	<p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>「WEB関連」の授業と連携し、画像編集制作の授業を行う。</p> <p>コンテスト作品制作への応募する関連した授業を行う。</p>		
教員の実務経験	<p>(有)・無 実務概要(服飾デザイナーおよびコンピューターグラフィックソフト企画営業)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 1 個人レベルスキルの状況確認
2回	グラフィックソフト習得	T Shirtグラフィクス 2-1 コンテスト作品制作
3回	グラフィックソフト習得	T Shirtグラフィクス 2-2 コンテスト作品制作
4回	グラフィックソフト習得	T Shirtグラフィクス 2-3 コンテスト作品制作
5回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 3-1 DTP編集・関連授業連携
6回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 3-2 DTP編集・関連授業連携
7回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 3-3 DTP編集・関連授業連携
8回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 3-4 DTP編集・関連授業連携
9回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 3-5 DTP編集・関連授業連携
10回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 3-6 DTP編集・関連授業連携
11回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 3-7 DTP編集・関連授業連携
12回	グラフィックソフト習得	ホームページ習得 3-8 DTP編集・関連授業連携
13回	試験	エディトリアルデザイン 4 実技
14回	課題制作	エディトリアルデザイン制作 5-1 実習
15回	課題制作-提出	エディトリアルデザイン制作 5-2 実習
16回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-1 DTP編集・関連授業連携
17回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-2 DTP編集・関連授業連携
18回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-3 DTP編集・関連授業連携
19回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-4 DTP編集・関連授業連携
20回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-5 DTP編集・関連授業連携
21回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-6 DTP編集・関連授業連携
22回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-7 DTP編集・関連授業連携
23回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-8 DTP編集・関連授業連携
24回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-9 DTP編集・関連授業連携
25回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-10 DTP編集・関連授業連携
26回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-11 DTP編集・関連授業連携
27回	グラフィックECサイト習得	ECサイトデザイン制作 6-12 DTP編集・関連授業連携
28回	試験	エディトリアルデザイン制作 7 実技
29回	修了制作	エディトリアルデザイン制作 8-1 実習
30回	修了制作-提出	エディトリアルデザイン制作 8-2 実習

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	デジタル広告	教員名	早河 太貴
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>本授業では、マーケティングおよび、デジタル広告に関する理論と手法を学び、  デジタル広告サービス・ツールの使い方を実機操作を通じて習得することで、  ECサイト担当者として、即戦力となるような実践的なスキルを身につけることを目指す。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎マーケティングの概念を理解している</li> <li>◎マーケティング・デジタル広告に関する基礎用語を理解している</li> <li>◎デジタル広告を中心とした広告の産業について理解している</li> <li>◎ECサイト運営に必要なデジタル広告に関する広告理論・手法を理解している</li> <li>◎デジタル広告サービス・ツールの操作方法を理解している</li> </ul>		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教科書・レジュメをベースとした講師による講座(座学)により知識を身につけながら、 理解度を図る小テスト、広告を体系的に学ぶワークを行う</li> <li>◎適宜、実際の広告配信ツールを用いた演習を行う</li> </ul>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎出席:20%</li> <li>◎授業への取り組み姿勢:40%</li> <li>◎テスト:20%</li> <li>◎課題:20%</li> </ul> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(広告代理店2社3年、マーケティングコンサルタント3年)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、デジタル広告を学ぶことの意義を理解する
2回	マーケティング・ブランディング概要	マーケティング・ブランディングの概要・目的を理解する 実例を用いて、体系的にマーケティング・ブランディングを理解する
3回	広告の歴史や役割について	広告全般の仕組みなどを理解する
4回	Web広告の歴史や役割について	Web広告全般の仕組みなどを理解する
5回	目標設定や日々のルーティーン 業務について	広告運用者の日々の業務について理解する
6回	広告運用で使われる用語について	広告運用の実務において使われる用語を理解する
7回	各種広告媒体の特徴と目的	各種デジタル広告媒体の特徴と目的を理解する
8回	前期テスト	前期テスト
9回	SNS広告	SNS広告のポイントと活用事例について理解する
10回	SNS広告	アパレル業界でのSNS広告の活用方法を理解する
11回	配信目的を明確にする	SNS広告を配信するための目的をフレームワークで整理する
12回	ツールの使い方	SNS広告を配信するためのツールの使い方を理解する
13回	ツールを設定する	実際のツールを使って設定することで、媒体を体系的に理解する
14回	レポートングについて	広告の配信レポートの必要性和作り方を理解する
15回	後期テスト	後期テストと振り返り

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	カスタマーリレーション	教員名	湯原 良樹
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>良い接客とは何でしょうか。探しているアイテムを伝えたら見つけてくれる、スタイリングを提案してくれる、試着や支払いをスムーズに誘導してくれる、そんな店員がいると思わず服を買ってしまうことではないでしょうか。それは対面の接客が発生しないオンラインショップでの販売でも同じです。</p> <p>実店舗での販売と同じように、適切にお客様の購買をサポートし、満足度をあげることがファンの獲得、ブランド価値の向上、売上増加に繋がります。</p> <p>本授業では、お客様のニーズを理解し、店舗、オンライン問わず優れたショッピング体験を提供するための基礎を学びます。</p>		
到達目標	<p>◎顧客管理・マーケティングの目的やその実践方法について理解する</p> <p>◎メルマガ・LINE・オンライン広告・ダイレクトメールなど顧客向けの販促活動の手法を身につける</p> <p>◎顧客満足度を向上させるための手法、分析方法について学び、ECサイトなどオンライン上で工夫すべき点を理解する</p>		
授業の方法	<p>座学でオンライン上での顧客管理・マーケティング分析手法を学ぶと同時に、自身でも世の中のECサイトを分析し、接客として優れているECサイトのエッセンスを感じ取りながら授業を進めていきます。</p>		
成績評価の方法	<p>◎課題:30%</p> <p>◎授業への取り組み姿勢:50%</p> <p>◎テスト:20%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>接客は対面販売だけで発生するものではありません。オンラインでもお客様が気持ちよくショッピングができ、ブランドのファンになってもらえるようお客様をより理解し、コミュニケーションを取る方法を学びましょう。</p>		
教員の實務経験	<p>(有)・無 實務概要(マーケティング・CRM企画、コンサルティング)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業の趣旨と1年間を通した目標の共有 ・カスタマーリレーションとは何か
2回	カスタマーリレーションとは①	・身近なショッピング体験の考察 ・顧客接点と現代における購買行動モデルの理解①
3回	カスタマーリレーションとは②	・顧客接点と現代における購買行動モデルの理解② ・カスタマーリレーションとマーケティングの関係性①
4回	カスタマーリレーションとは③	・カスタマーリレーションとマーケティングの関係性② ・顧客理解のための分析手法とデータ
5回	カスタマーリレーションとは④	・顧客理解演習 ・学習内容の振り返り
6回	前期テスト	前期テスト
7回	カスタマーリレーションとマーケティング①	・カスタマーリレーションを意識したマーケティング施策の検討と実践① ・ECサイトにおけるマーケティング手法とデータ活用①
8回	カスタマーリレーションとマーケティング②	・カスタマーリレーションを意識したマーケティング施策の検討と実践② ・ECサイトにおけるマーケティング手法とデータ活用②
9回	卒業制作	卒業制作におけるマーケティング、カスタマーリレーションを意識したブランド、ECサイト企画
10回	卒業制作	卒業制作におけるマーケティング、カスタマーリレーションを意識したブランド、ECサイト企画
11回	卒業制作	卒業制作におけるマーケティング、カスタマーリレーションを意識したブランド、ECサイト企画
12回	カスタマーリレーションとマーケティング③	・カスタマーリレーションを意識したマーケティング施策の検討と実践③ ・ECサイトにおけるマーケティング手法とデータ活用③
13回	カスタマーリレーションとマーケティング④	・カスタマーリレーションを意識したマーケティング施策の検討と実践④ ・ECサイトにおけるマーケティング手法とデータ活用④
14回	これからのカスタマーリレーション	・より良い顧客体験を作る、カスタマーリレーションの展望 ・これまでの学習の振り返り
15回	後期テスト	後期テスト

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	コピーライティング	教員名	苫米地 香織
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>オンラインストアでユーザーが商品を選ぶときの指標にするのは、商品画像と商品説明文です。</p> <p>商品説明文は、商品を実際に手に取ってみることができないユーザーにとって大切な情報源になります。</p> <p>限られた商品画像では伝えることができない情報(着こなし方、素材感、肌触り、透け感など)が、だれにでも正しく分かりやすく伝えることが大切になります。</p> <p>また、キャッチコピーを付けることで、ブランドや商品が魅力的に見える効果もあります。</p> <p>本授業では伝える文章を書くための基礎知識を学び、文章力、表現力を身につけていきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不特定多数の人に伝わる基本的な文章を書けるようになる。</li> <li>・商品説明文を書く際に必要な商品情報収集方法やアイテム用語を身につける。</li> <li>・商品を魅力的に見せるための語彙を身につけ、表現力を磨く。</li> </ul>		
授業の方法	<p>現状のオンラインストアに掲載されている商品説明文やキャッチコピーを読んでみて、どのような説明文が分かりやすいか、購買欲が湧くのかを分析し、それをもとに自分でも商品説明文を書いてみます。</p> <p>毎回、それをクラスメイトと読み合い、その文章から商品情報や商品の魅力が伝わっているか確認し合います。あらためて日本語の文法を学び直し、誰にでも伝わる文章を書けるようにします。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題 50%</li> <li>・授業態度 50%</li> </ul> <p>課題の出来栄や文章力・表現力の高さだけでなく、それらを磨くための自己研鑽の部分も評価します。</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>誰にでも理解できる文章が書けるということは、社会に出た後もビジネスシーンだけでなく、あらゆる場面で役に立ちます。表現力や語彙力は「センス」です。「センス」とは知識量に比例するので、常日頃から自分の知識を増やすことを意識していきましょう。</p>		
教員の実務経験	<p>(有)・無 実務概要(ファッションライター、ジャーナリスト、業界専門誌を中心に執筆)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介文を作成して、みんなに発表する
2回	ライティング基礎	ユーザー視点でオンラインストアの商品説明文を研究する
3回	ライティング基礎	実際のアイテムを用いて説明文を書いてみる
4回	ライティング基礎	日本語の文法を学ぶ
5回	ライティング応用	基礎を身につけた上で、実際のアイテムを用いて説明文を書く
6回	ライティング応用	表現力、語彙力の身につけ方を学ぶ
7回	ライティング応用	メルマガやSNS発信するための長文を書いてみる
8回	修了製作に向けたライティング	自分が作成するECサイトを言語化する
9回	修了製作に向けたライティング	自分のECサイトに掲載するアバウト、コンセプトページの文章作成
10回	修了製作に向けたライティング	自分のECサイトに掲載するキャッチコピーなどの作成
11回	修了製作に向けたライティング	自分のECサイトに掲載する商品・スタイリングのライティング
12回	修了製作に向けたライティング	自分のECサイトに掲載する商品・スタイリングのライティング
13回	修了製作に向けたライティング	自分のECサイトに掲載する商品・スタイリングのライティング
14回	修了製作に向けたライティング	プレゼンテーション用の文章作成
15回	総括	あらためて自己紹介文を書いてみる

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	パソコンワーク	教員名	細谷 典子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す業種がPC操作必須となるため、迅速な入力を目指します</li> <li>・Excelの操作スキル向上: マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS) 受験レベルを目指します</li> <li>・Powerpointを用いて人前で自分の考えを発言できるようにします</li> </ul>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素早いキーボード操作とショートカットキーの活用</li> <li>・実務で通用するExcelとPowerpointスキルの習得</li> <li>・Excelのマイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)の受験レベルの習得</li> </ul>		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Excelは模擬問題を準備し、全員で進めていきます。公欠や欠席などがあっても遅れることがないように、毎回テストとし、こまめに保存をしていきます</li> <li>・Powerpointは後期の課題とし、前期(9月)は準備期間として積極性の加点方式に組み入れます</li> </ul>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬試験 100%</li> <li>・授業態度、積極性 加点+0~10%</li> <li>・出席率 加点+0~15%</li> </ul> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(DTPデザイナー・Webデザイナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	キーボード操作のチェック Excel操作の確認	キーボード入力/ショートカットキー活用トレーニング Excelスキルチェック (初心者、経験者の差がありますので、個人のスキルチェック結果に応じて、以降の授業内容を決定します)
2回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
3回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
4回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
5回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
6回	Excel & PowerPoint	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得 PP: 課題の説明
7回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
8回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
9回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
10回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
11回	Excel	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得
12回	Excel & PowerPoint	模擬問題を用いたExcel操作方法の習得 PP: 課題作業の開始
13回	PowerPoint	それぞれの作業に合わせ、個別指導をする①
14回	PowerPoint	それぞれの作業に合わせ、個別指導をする②
15回	PowerPoint	最終提出、発表

1日3時間 × 15回 = 45時間



回数	授業テーマ	授業内容
1回	①ファッション業界で活躍する方の講演	学生時代から現在の仕事までの体験談・仕事について・学生へのアドバイス（3時間）
2回	↓	振り返り（1.5時間）
3回	②美術鑑賞・デザインモチーフ鑑賞	西洋絵画鑑賞等に向けての解説（1.5時間）
4回	↓	美術館での西洋絵画鑑賞（3時間）
5回	↓	動物園でのデザインモチーフ研究または博物館での日本美術鑑賞（3時間）
6回	↓	振り返り（1.5時間）
7回	③テーマパークコミュニケーションスキルセミナー	コミュニケーションスキルの研修・実査（3時間）
8回	↓	コミュニケーションスキルの実査・ステージ衣装視察（6時間）
9回	↓	振り返り（1.5時間）
10回	④芸術鑑賞（観劇）	観劇に向けての解説（1.5時間）
11回	↓	劇場での観劇（3時間）
12回	↓	振り返り（1.5時間）

科目名	インターンシップ	教員名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>企業等で、実際の仕事現場での業務を体験する研修です。</p> <p>プロの指導の下、業務を体験することで、プロ意識を植え付け、職業についての理解を深めます。</p> <p>自分自身の職業適性を知る機会にもなり、将来の職業選択にも役立つ授業科目です。</p>		
到達目標	<p>企業等で与えられた仕事・課題を遂行し、職場において社会人としての基本的な行動ができること。</p> <p>そして、体験した業務に関する職業観を会得することを目標とします。</p>		
授業の方法	<p>受け入れ先のルール・指示に従い、現場の業務を体験します。</p>		
成績評価の方法	<p>受け入れ先担当者からのフィードバック(書面または口頭による評価)、研修完了報告書等により、インターンシップを滞りなく完了したことを確認し、P(合格)・F(不合格)で評価します。</p> <p>P=インターンシップ完了、F=インターンシップ未完了(欠勤や業務不適應で完了と認められない場合)</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>インターンシップ実施時間合計28時間以上の研修を対象とします。</p> <p>また、複数のインターンシップに参加し、実施累計時間28時間以上となる場合も履修と認めます。</p>		
教員の实务経験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 实务概要( )		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	事前指導	インターンシップの注意事項、受け入れ先企業の基本情報をレクチャー（1時間）
2回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ
～	↓	↓
11回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ（インターンシップ時間合計 28時間以上）
12回	報告書作成	研修完了報告書の作成・提出（1時間）

科目名	修了制作	教員名	伊藤 貴裕
授業時数・単位	120 時間 4 単位	対象クラス	FT 科 1 年
授業テーマ・概要	FT科内の各授業と連携し、5時限目以降および通常授業の休講日を利用して、自身のオリジナルECサイトを制作します。		
到達目標	ショップコンセプトを設定し、自ら販売商品の決定・スタイリングを行った上で、商品のライティングや撮影を行うとともに、コンセプトに沿ったデザインのECサイトを立ち上げ、商品を掲載できることを目標とします。		
授業の方法	修了制作発表(プレゼンテーション)できるレベルの完成度の高い修了作品を期日までに完成できるよう、一人ひとりにマンツーマンで制作指導を行います。		
成績評価の方法	FT科の修了制作として、実務的に出店が可能なレベルでのECサイトの制作を行い、制作したECサイトのプレゼンテーションを通じて、P(合格)・F(不合格)で評価します。		
	※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特記事項			
教員の實務経験	○・無 實務概要(ITコンサルタント、企業向けシステム研修講師)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	修了作品制作	ECサイト制作・プレゼンテーション準備
～	↓	↓
30回	↓	↓

ファッションテック科 授業科目一覧表							
分類	授業科目	必・選 の別	1年次		授業 種類	担当教員	業界 実務 経験
			年間授業時間数	単位			
専門 科目	ファッション知識	必修	45	1.5	講義	面田 憲郎	○
	アパレル商品知識	選択必修	90	3	講義	笠原 敏正	○
	ファッションコーディネート	必修	45	1.5	演習	伊藤 彩	○
	E Cショップブランディング	必修	90	3	演習	山岸 千恵	○
	I T基礎	必修	45	1.5	演習	伊藤 貴裕	○
	I Tパスポート演習	選択必修	90	3	演習	原田 亮一	○
	WEB制作	必修	90	3	実習	橋口 陽二郎 面田 憲郎	○
	WEB運営	必修	90	3	演習	深地 雅也	○
	カメラワーク	必修	45	1.5	実習	石田 英士	○
	画像編集ワーク	必修	90	3	実習	西村 元良	○
	デジタル広告	必修	45	1.5	演習	早河 太貴	○
	カスタマーリレーション	必修	45	1.5	演習	湯原 良樹	○
専門 関連 科目	コピーライティング	必修	45	1.5	演習	苫米地 香織	○
	パソコンワーク	必修	45	1.5	実習	細谷 典子	○
一般 科目	校外研修	必修	30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	インターンシップ※	選択	30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	修了制作	必修	120	4	実習	伊藤 貴裕	○
	必修科目授業時間数		870	29			
	選択必修科目授業時間数		180	6			
	選択科目授業時間数		30	1			
	卒業に必要な総授業時数		800時間以上				
	全設置授業時数		1080時間				
	実務教員授業時数		1020時間				

※受講生の選抜を行う場合がある

【備考】 選択必修科目は1科目以上、90時間以上履修すべきものとする

I Tパスポート演習は内部進学者対象とする